

【公表】事業所における自己評価総括表

○事業所名	立川らびっとくらぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24件	(回答者数) 22件
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供にとって安心できる居場所であること	訳150種類のおもちゃを用意し一人ひとりの興味関心に合う遊びを提供している それぞれの気持ちに徹底的に寄り添い気持ちを共有することで信頼関係を構築している	
2	保護者の方が困りごとを相談しやすい環境づくり	相談があるときには電話やラインなどで気軽に連絡が取れるようにしている 送迎時や連絡帳を通して情報共有をし必要であれば家庭訪問などで環境調整のアドバイスをしている	
3	地域資源との連携	学校との定期的な会議・進学進級時の学校への情報提供を行い支援方法や方針の共有をしている 受診同行・退院時のカンファレンスの開催も行う	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所以外の人々や子どもたちとの交流	学校に溶け込めないという悩みを抱えている子どもも多いため、安心できる場所であることを優先したいと思い今後も控える予定である	交流という場は設けないが、毎日使用させてもらっている公園の掃除や、管理などを通して事業所への理解や地域との連携が持てる取り組みは続けていく
2	緊急時などのマニュアルに関する周知不足	避難訓練などの実施に関しては通信等でお伝えしているがマニュアルの存在については周知するタイミングを逃してきた	年1のイベント時や面談時など閲覧を希望する方がいればすぐお見せできるように準備をしておく アンケートもマニュアルの存在をわからないとの回答が多かったため別途お知らせの機会を設けることとする
3			